



【在籍児童・生徒数】	
びわこ学園部	3名
小学部	17名
中学部	92名
高等部	135名

草津養護学校ニュース

第34号
年2回発行

発行元:滋賀県立草津養護学校 発行責任者:深尾栄子(PTA会長)

連絡先:草津市笠山八丁目3番111号 TEL:(077)566-0012(代表)

こんにちは!草津養護学校です。草津養護学校ニュースをご覧頂きありがとうございます。

- 掲載内容
- 車いすでGO!:重症心身障害児の校外活動の様子。
 - 障害のある子どもの未来を越市長と語るシンポジウム他。



草津養護学校には、重い障がいを重複している子ども達も通っています。家庭では、なかなかお出かけしにくい子ども達も、学校では修学旅行やフローティングスクール、校外学習など『教育』の中でどんどん外に出かけ、多くの『経験』を積み上げています。

「身体は不自由でも、あたりまえにお出かけしたい!!」

そんな、ささやかな夢をかなえてくれる学校が、子ども達は大好きです。



フローティング
スクール



「滋賀の小学5年といえば!コレ!」

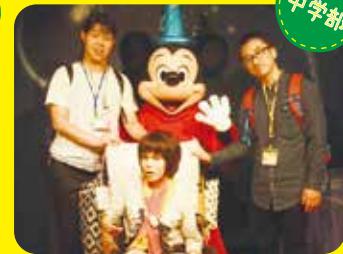
修学旅行



姫路・須磨方面(1泊2日)

小学部

中学部



東京ディズニーランド他(2泊3日)

高等部



東京方面(3泊4日)

校外学習



びわこ文化公園・夕照庵
「茶道体験にチャンレンジ!」



甲賀市 成田牧場
「エサやりをしたよ!」



人工呼吸器をつけている3名が
揃ってびわこ博物館へ!



滋賀県立アイスアリーナ
「ソリに乗りかえてシュー!」

「みんなでつくる 誰もが暮らせる大津」

～障害のある子どもの未来を越市長と語るシンポジウム～

2016年7月1日(金) 於：明日都浜大津4階ホール



重度の障害(①知的重度で生活支援課題の大きい人②重症心身障害の状態にある人③行動障害を伴う人)のある子どもたちは、学校を卒業した後「生活介護事業所」で昼間の時間を過ごします。ところが、大津市では今後6年間で特別支援学校を卒業する生活介護事業所の対象となる人数は107名という数になり、事業所不足が明らかになっています。この大津圏域の障害福祉サービス整備において緊急の課題の一つとして「卒業生の進路先の確保に関して現状の共有と課題解決に向けた検討を行うためのシンポジウム」を大津市障害者自立支援協議会が中心となり、障害児者と支える人の会、北大津養護学校PTA、草津養護学校PTAの4団体共同主催で開催しました。

当日は270人近い参加者が会場を埋め尽くし、午前は「障害のある子どもの未来を語る」というタイトルで、司会に田村 和宏氏(立命館大学産業社会学部現代社会学科 准教授)、パネラーに越 直美氏(大津市長)、中島 佳奈氏(草津養護学校PTA)、西村 政子氏(北大津養護学校PTA)の3人の方に登壇して頂き、今までの大津市の通所施設の整備の経過と成果を確認しました。保護者の方々の発表では、養護学校での日々の活動

が重度の障害のある子どもの意欲・健康・笑顔を支えていること、日々の姿や暮らしを支える家族の状況を聞き、越市長と共に通所施設整備に向けた必要性と子どもたちの「行き先のない事態」を回避したい願いを共有できました。

午後からは「子どもたちの未来のために今何をすべきか?」というタイトルで、司会を田村 和宏氏、パネラーに自立支援協議会の各部会代表と障害児者と支える人の会の植松 久仁子氏、障害福祉課の上田 純子氏を交え、自立支援協議会の中で日々協議されている大津市の通所施設の現状と課題の意見交換を行いました。本校の先輩にあたる、支える会の植松さんの話は、自身の子どもさんを通しての“作業所つくり運動”や“保護者のすべきこと”に感銘を受けました。

今回のシンポジウムを受けて、大津市の事情を保護者と事業所が同じ場所で話し合い、市長に聞いて頂けたことは有意義な一歩でした。

今後も、多くの人々と気持ちを合わせ、大津市のみならず草津市(湖南圏域)についても「生活介護事業所」の増設を願い、話し合いを続けて「障害のある子どもの未来を創って行きたい」と考えています。



第22回草津養護学校秋まつりを開催しました。

2016年11月19日(土)約1000名以上のご参加をいただき盛況に終えました。
ご協力いただいた地域のボランティアの皆様本当にありがとうございました!



草津養護学校で学ぶ子どもたちの教育条件をよくする会より ～要望署名にご協力ありがとうございます～

350名程の子どもたちが学ぶ草津養護学校の教育・通学条件を改善する願いにご賛同・ご協力いただいた市民の皆さま、ありがとうございました。

●8月20日(土)青山学区夏祭り ●11月13日(日)草津学区ふれあい広場 ●11月19日(土)草津養護学校秋まつり ●12月4日(日)大津ほかほかまつりなどで署名活動をさせていただき、現在、約2200筆以上が集まっています。

これからも続けていきますので、ご協力よろしくお願いします。

編集後記

学校から車いすでお出かけした子ども達のうれしそうな笑顔をお伝えしました。しかし卒業後の進路先は不足。ずっと自宅で過ごすのか?という不安からシンポジウム開催にいたりました。子ども達に「社会とつながる、あたりまえの生活をずっとさせたい。」これが私たち保護者の願いです。